

# 社協みよし

5月号  
社協みよし  
2017  
Vol. 60



太刀野地区住民福祉協議会 設立総会  
関連記事:⑧ページ やまびこちゃんのひとりごと

## もくじ

- ▷ 2P 【特集】地区住協リーダー研修会
- ▷ 3P ~暮らしやすいまちづくりのために  
△ 4P 助け合い活動をひろげましょう!~
- ▷ 5P 平成29年度事業計画・予算
- ▷ 6P 社協評議員の改選・老友ひろばほか
- ▷ 7P いきいきサロン紹介・日赤社費募集ほか
- ▷ 8P 寄附のお礼・福祉総合相談ほか



本事業1  
地域の「まちづくり」の推進  
～サロン活動の活性化～

本事業2  
援助が必要な方に対する支援  
～子どもを対象～

本事業3  
安全で安心なまちづくりの推進 → 自主防災会  
防災意識の高揚～

各事業にリーダーを設置し、リーダー主導のもと、事業実施★

4つの事業を年間通して計画を立てています。子ども支援事業は、下校ボランティアの実施・保育所運動会へ参加を実施しています。



ふれあいサロンでは、レクリエーションや健康体操などで身体を動かし、お茶を飲みながら日頃顔を合わせない方とも懐かしい話に花が咲きます。



地域防災訓練では、消防団と連携し避難訓練を実施したり、消防署員を講師に招いての救護体験を実施したりと、緊急時に発揮される地域力の向上と強化にも力を入れています。



＜組織体制について＞  
黎明地区住協会長の福田功稔さんからは“よりよい地域にしていくためのサポート”をしていくことが地区住協の役割だとお話をいただきました。



聖カタリナ大学（愛媛県松山市）人間健康福祉学部准教授 高杉公人先生。平成24年度の研修会から講師として関わっていただいており、5度目の講義となる今回は、三好市の地域福祉の状況をよくご理解いただいたうえで、第二次地域福祉活動計画の推進から生活支援体制整備まで幅広くお話をいただきました。

## 暮らしがやすいまちづくりのために 助け合い活動をひろげましょう！

今月の「特集」は、毎年開催している地区住民福祉協議会（地区住協）リーダー研修会の様子です。三好市内に64カ所組織された地区住協（平成29年末現在）では、平成27年度から第二次地域福祉活動計画を実践しています。この度のリーダー研修会では、地域福祉活動を推進する上で重要な3つの柱についての共通理解と今後の具体的な対策について研修しました。

平成28年度に行われた恒例の地区住協リーダー研修会は、3月9日に池田総合体育館で開催されました。講師に聖カタリナ大学准教授 高杉公人氏をお招きし、前半は市内で活発に取り組んでいる3地区住協から、今後の活動の参考になる3つの項目についてそれぞれご報告いただきました。

### 組織体制について

最初に、黎明地区住協（井川）会長福田功稔さんから地区住協活動の根幹となる「組織づくりと運営方法」についてご報告いただきました。組織作りでは、いきいきサロン事業や防災事業など事業ごとに地域の主要な方々と協議を重ね、活動内容に合せて人選し、地域ごとに協力員を配置しています。運営面では、地区住協が果たす役割と使命を各事業リーダーが理解していくことで、地域への展開がスムーズに行われています。それは、地区住協ごとに策定した地域福祉活動計画を「活動地図」として目標を設定し、こなちはサポート黎明“のキヤッチフレーズに向けて、同じ方向に目線を向けて事業展開となっています。



＜見守りネットワークについて＞  
東川原地区住協会長代行の中岡和好さんからは「活動に否定的な人まで地域の人材です。プラスにとらえて取り組んでいます。」とお話をいただきました。

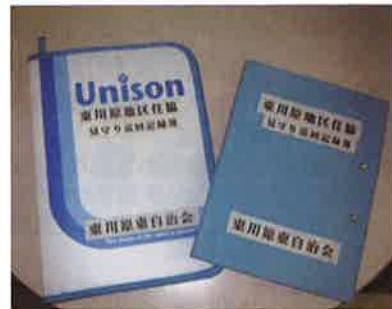
続いて、東川原地区住協（三野）会長代行中岡和好さんからの報告は、毎月2回高齢者宅を巡回している『地域見守り巡回員』の活動です。螢光色で地区住協の名前入りジャンパーは地域の方々の目に留まりやすく、見守り活動の目印になっています。また、巡回記録を作成することで地域のお年寄りの変化を残しており、次の訪問員に訪問対象者の状況を繋ぐことができています。それは対象者の変化に気づき、対応がしやすくなる丁寧な活動になっています。

### 見守りネットワークについて

## \*東川原地区の活動のポイント

- \*①人 → 活動に対して否定的な人
- \*②物 → ジャンバー、看板等
- \*③金 → 補助金

- ・3点のポイントを巧く活用
- ・見守り事業の実施
- ・現在も継続



上手に地域にPRすることが活動をより充実したものに変えていきます。

見守り巡回記録簿を作成し、次の巡回員につなぎます。その使命と責任までしっかりとつなぎます。



行政と連携し血圧測定・尿検査などを取り入れています。いろんな機関や団体に関わっていただくことが連携の秘訣です。



**くいきくいサロンについて**  
白地福祉友の会会长の辻岡菊雄さんからは“長く続けることは難しいことだが、色々な人に協力いただいて皆で支えていくことが大事だ”とお話しいただきました。



高齢者世帯への巡回訪問は、必ず男女の複数名で訪問し、対象者に安心して対応してもらえるよう配慮しています。雑談をしながら生活近況を確認し、身の上話から困りごと相談まで話が膨らむこともあります。



年間を通じて欠席されなかつた方には皆勤賞を出すという工夫も。

このようにご報告いただいた取り組みは、形や方法は違つても、全ての地区住協の参考になる内容でした。私たち社会福祉協議会は、地域で展開されている地域福祉活動を、地域の皆さんのが楽しく、無理なく、やりがいを感じられる取り組みになるようこれからも支援していきます。

最後に、白地福祉友の会（池田）会長辻岡菊雄さんからの報告は、いきいきサロンの「息の切れない継続した運営」についてです。長く続けることは簡単そうで難しく、根気と企画力が必要になります。色々なテーマで実施するだけではなく、効果を実感することができ、楽しく参加して居心地のいいサロンになるよう配慮されています。また、できるだけ参加者のニーズを満たせるような配慮をしていくことで充実感を感じもらえる工夫ができるいます。よりよい活動に繋げていくために、協力してくれる地域の方々や各種専門職とのネットワークをとてもらっています。

これまでの介護予防は、利用者と専門職との関係にとどまつており、地域全般に広がつていませんでしたが、住民主体で支え合う「地域づくり」の中で介護予防を進めることで、支援の担い手として参加した方々の健康づくりにもつながり、地域全体で介護予防活動に取り組むことができます。

そこで鍵となるのが「小地域福祉活動」です。地域の特性に合った福祉課題に、地域団体と有志・ボランティアがタッグを組んで協働で行う活動のことです。三好市社協では、この『小地域』（生活を行う地域）の設定を、市内全域に組織されている地区住協の圈域としています。地域住民がつながり協働しやすい圏域であり、それぞれの地域で気づきを共有し、特色ある福祉活動計画に示した活動の方向性と、見守り・支え合いといった具体的な活動を相互に影響させながら活動を発展させ

## いきいきサロンについて

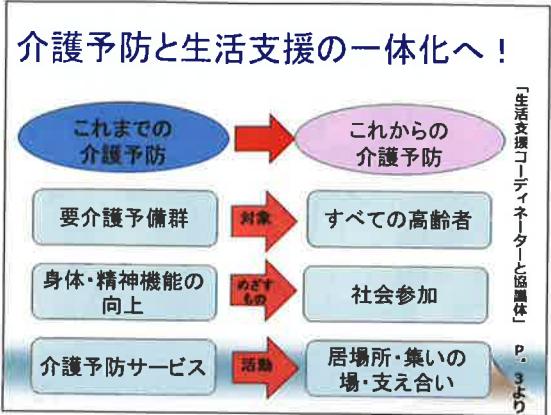
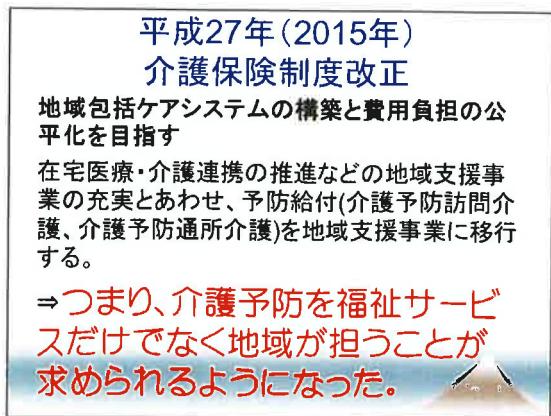
最後に、白地福祉友の会（池田）会長辻岡菊雄さんからの報告は、いき

いきいきサロンで町おこしつながり・見守り・支え合いによる生活支援をあげるために

暮らしやすいまちに

【講演】  
助け合い活動で  
暮らしやすいまちに

（介護予防で町おこしつながり・見守り・支え合いによる生活支援をあげるために）



支援や介護が必要になると、専門職サービスは提供されますが、それだけでは地域生活を支えていくことになりません。



“お互いさまの助け合い”的輪を広げていくことで、支援や介護が必要になつても地域社会の中から切り離されず、なじみの関係を継続できるよう地域ごとの取り組みが期待されています。

「支え合いマップづくり」は、要援護者などの対象者本人を含めた地域住民自らが自分たちの生活地図を描いていきます。つまり対象者本人も支える側も、何らかの対象者本人も支える側となり、支援を受ける側となる「双向型支え合いマップ」であることが大きな特徴です。

まず、参加者が「住民履歴書」に自ら「これまでの生活」「今の生活」を履歴書風に書き込みます。続いてグループ内で住民履歴書に沿って自己紹介し、情報共有することで関係をつないでいきます。そして、高杉先生から出された事例の三好次郎さん(仮名)に自分ができる支援を付箋に書いて貼つています。支援内容をグループ分け

住協リーダー研修でこれまで何度も実施してきましたが、今回は全く反対の手法で展開していく「住民履歴書とエゴマップづくり」を体験しました。

「支え合いマップづくり」は、要援護者などの対象者本人のいないところでも支える側による支えるためのマップを作ります。「住民履歴書とエゴマップづくり」は、要援護者などの対象者本人を含めた地域住民自らが自分たちの生活地図を描いていきます。つまり対象者本人も支える側も、何らかの対象者本人も支える側となり、支援を受ける側となる「双向型支え合いマップ」であることが大きな特徴です。

ていくことが大事な要素となります。また、地域で介護予防や生活支援が充実してくれば地域の福祉力が向上します。安心した生活につながります。そのためにも活動する側が楽しみないと続かないかもしれません。皆さんの「得意」と思うことを活かして「できることから」「楽しめることから」はじめてみてはいかがでしょうか。

### 【グループワーク】 住民履歴書とエゴマップづくり



社協職員を交えて9班に分かれたグループワークが行われました。

したり、協働で支援でできる内容を整理します。机上の仮の作業でしたが、参加の皆さんには自分の特技を活かして対象者をしつかり支援していくこうとグループワークに挑んでいました。初めて経験した「見守り活動」から「見守られ活動」への展開に、支え合い形成の新たな発見がありました。

# 平成29年度事業計画・予算



## 基本方針

本年度は、改正社会福祉法による社会福祉法人制度改革により、これまで以上に地域に信頼される事業運営を目指し、関係機関と連携した地域のネットワーク構築を推進します。そして、生活支援体制整備の充実を図るため、本会の果たすべき役割を進めています。

指定管理事業は、引き続き指定管理の指定を受け福祉センター及び通所介護事業の管理運営を行い、経営改善に向けて更なる経営努力を重ねながら事業を進めています。

また、本会が実施する介護保険事業等の在宅福祉サービスについては、介護サービスを必要としている利用者が住み慣れた地域で平等に安心して介護サービスを受けることができるよう最大限の努力を重ねていきます。

## 事業計画の内容

### 1 法人運営・基盤強化

○社会福祉法第109条に規定される公益性の高い民間福祉団体として、その使命を実現するために基盤強化と健全な運営を図ります。

### 2 指定管理等の管理運営

○指定管理及び業務委託により適正かつ円滑な管理・運営を行います。

老人福祉センター  
デイサービスセンター等

### 3 地域福祉事業の展開（拠点）

#### ○地区住民福祉協議会活動の支援

第二次地域福祉活動計画に基づき活動が自主的に実行されるよう後方支援を行います。

#### ○要援護者支援事業

要援護者等の実態把握やニーズ抽出を行い、見守り活動等により地域の要援護者が安心して生活できるように支援します。

#### ○総合相談事業

市民が抱える生活や福祉等の各種相談に対応するるために相談事業を実施します。

### ○日常生活自立支援事業

### ○生活福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者世帯への経済的支援と社会参加の促進を図るために、資金の貸付事業を行い、関係機関と連携を図りながら相談支援を実施します。

### ○障害者地域共同作業所「愛生」運営

### 4 介護保険事業

#### ○居宅介護支援事業

#### ○訪問介護事業

#### ○通所介護事業

#### ○訪問入浴介護事業

#### ○訪問看護事業

### 5 障害者支援事業

#### ○障害福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、サービス利用者に対し介護及び生活支援を行います。

#### ○障害者デイサービス事業

在宅障がい者に対し、通所の方法により各種サービスを提供することにより自立生活の支援を図ります。

### 6 三好市受託事業（拠点）

#### ○きらめき元気アップ教室

65歳以上の介護保険の給付対象となる高齢者を対象とした一般介護予防事業として実施します。

紅葉温泉デイサービスセンター

西祖谷デイサービスセンター

東祖谷デイサービスセンター

#### ○障害者移動支援車両移送型事業

#### ○障害者移動支援個別支援型事業

#### ○生活支援サービス体制整備事業

介護予防・日常生活支援総合事業を推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を目的として既存の取り組みや組織等も活用しながら地域において、生活支援・介護予防サービス提供体制のコーディネートを図ります。

#### ○地域いきいき事業

#### ○市町村地域生活支援事業

(1) ボランティア活動支援事業

(2) 声の広報発行事業

(3) スポーツ・レクリエーション教室開催事業

## 予算（単位：千円）

### 法人運営事業

161,642

### 収益事業

1,000

### 共同作業所運営事業

5,282

### 指定管理事業

6,221

### 地域福祉事業

45,322

### 地域包括支援センター事業

49,760

支出し合計  
530,653,000円

### 介護保険事業

261,426

### 前年度繰越金充当

66,583

### 補助金収入

144,382

収入合計  
530,653,000円

### 負担金・分担金

49,940

### 区分間繰入金収入

39,671

### 受託金収入

26,352

### 会費収入

15,919

### 障害福祉サービス事業収入

9,721

### 事業収入

4,782

### その他の活動による収入

1,011

### 寄附金収入

961

### 共同募金配分金収入

843



## ～じぶんの町をよくするしくみ～

**平成29年度共同募金**

### 地域福祉推進公募事業

徳島県共同募金会三好市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金事業として三好市内で行う地域福祉活動や地域活性化事業に対して活動費の助成を行います。

共同募金を地域の皆様にも有効活用していただき、地域の活性化につなげてください。

助成事業の詳細については三好市社協各支所までお問合せください。要綱等の必要書類をお渡しいたします。



助成対象	地域住民を対象とし、地域福祉の推進に関する事業 (例) 小地域たすけあい活動、まちづくり活動、青少年育成事業、ボランティア講座、研修会等
助成額	1団体につき3万円以内(3団体)
事業実施期間	交付決定日～平成30年2月28日(水)まで
申込締切	平成29年6月30日(金)
選考方法	書類、プレゼンテーション等による選考を行います。
問合せ・申込先	三好市社会福祉協議会内 三好市共同募金委員会 三好市池田町サラダ1884-4 TEL:72-5715 FAX:72-5720



特に、今年度が最後として行われた運動会は、児童4名と地域住民200人余りが参加しました。政友寿楽会は、「これからも地域と二人三脚で様々な事に挑戦し取り組んで参ります。」といつまでも心に輝かせながら、政友寿楽会は「これまで思いましたが、こうした思い出をいつまでも心に焼き付いています。少し寂しい気持ちはあります」と、休校を惜しみながら一致団結した素晴らしい運動会になつたことが心に焼き付いています。

## 三好市社会福祉協議会 評議員の改選がありました

この度の社会福祉法人制度改革の施行により、平成29年4月1日から新しく評議員が選任されましたのでご紹介いたします。任期は平成29年4月1日から平成32年度定例評議員会終結時までの4年間となり、定数は19名以上28名以内になりました。どうかよろしくお願ひします。

### 評議員名簿(敬称略)

区分	氏名	区分	氏名
地域代表(三野)	金村照一	民生児童委員	山下武久
地域代表(三野)	阪本恵子	民生児童委員	大北慶子
地域代表(池田)	長内和代	老人クラブ	北川征四郎
地域代表(池田)	山下一郎	老人クラブ	森公明
地域代表(池田)	田中佳年	障害者団体	北原忠弘
地域代表(池田)	辻岡菊雄	障害者団体	藤原早月
地域代表(山城)	栗下廣志	婦人団体	山田直子
地域代表(山城)	畠山茂喜	母子父子団体	中川千代美
地域代表(井川)	糸田川武男	市議会	伊丹征治
地域代表(井川)	福田功穂	行政機関	吉村光代
地域代表(東祖谷)	中谷幸子	社会福祉事業	大泉真二郎
地域代表(東祖谷)	井下正	社会福祉事業	来代修一
地域代表(西祖谷)	片山茂	ボランティア	黒石紘一
地域代表(西祖谷)	山田京子	ボランティア	木村惠美子

この度の改選により退任された評議員のみなさま長らくご指導いただきありがとうございました。



### 老友 ひろば

## 政友小学校の 休校を偲ぶ

政友寿楽会(山城)

政友寿楽会は、山城町の西部伊予川ダムの畔にある三好市立政友小学校の校区を中心とした会員42名の小さな老人クラブです。私たちも寿楽会といろいろと交流を行つてくれました。政友小学校が児童の減少で平成29年3月をもつて休校となりました。百三十年の歴史と伝統、二千五百余名の卒業生を輩出してきた政友小学校の休校は誠に残念です。政友小学校と寿楽会との交流の思い出は春と秋の伊予川や国道319号の清掃作業にはじまり、河川敷で多くの人たちと楽しんだ芋炊会、秋の運動会、いろいろな出し物が楽しかった文化交流会、そして真剣に勝負したグラウンドゴルフ大会など、数々の行事を一緒に行いました。

募集



## 日本赤十字社活動 支援費(日赤社費)募集

### ～ご協力をお願いします～

赤十字では、毎年5月を中心に「赤十字活動支援費の募集運動」を実施し、各地域で赤十字奉仕団(婦人会等)、町内会、自治会、ボランティア等の方々にご協力をいただき、各ご家庭に赤十字活動支援費のご協力をお願いしています。

皆様から寄せられた日赤社費は、災害救護・救援活動はもとより救援物資の備蓄や災害用移動炊飯器の増設・尊い命を守る救急技法等の普及の財源となっています。

今後とも、赤十字活動へのご支援ご協力をよろしくお願いします。

### ～災害用移動炊飯器が贈呈されました～

平成29年3月9日、災害用移動炊飯器2基が日本赤十字社徳島県支部小森事務局長と阿波銀行池田支店西木支店長から三好市地区黒川地区長、三好市地区赤十字奉

仕団 福田委員長に贈呈されました。今回贈呈された災害用移動炊飯器は、市の危機管理課と箸蔵公民館に設置されます。地域や学校での訓練や学習、行事でご活用ください。



● 時 間 百歳体操 毎週火曜日  
開催日 いきいきサロン 第四火曜日  
場 所 午後1時半から 清水集会所

防災講習など内容に幅を持たせて楽しんでいます。その効果は絶大です。市の保健師も太鼓判を押しています。地域のみなさん、ぜひ参加してみてはどうでしょうか。

● 時 間 週2回 月・木曜日  
開催日 午後1時から  
場 所 旧柄之瀬小学校  
ラジナルーム

地域のカラオケが好きな皆さん気軽に遊びに来て下さい。

歌の好きな人が集まり、お茶を飲んだり、話したり、カラオケもしたりと毎回楽しい時間を過ごしています。



相談

## シルバー110番

### 徳島県高齢者総合 相談センター

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

住所 徳島市中昭和町1丁目2番地  
徳島県立総合福祉センター4階

**088-654-8110**

無料

**FAX 088-653-8810**

**0120-308-504**

秘密厳守

(※ 無料ダイヤルは、携帯からはご利用になれません。)

高齢者やご家族の方々からの高齢者に関するご相談に応じています。お気軽にご利用ください。

#### ●相談日程

相談の種類	担当	時 間
一般相談	職 員	毎週 月～金曜日 9:00～16:00
専門相談	こころ 法律 内科医療 健康・介護・虐待 税金	保健師 弁護士 医 師 看護師 税理士
こころ	保健師	毎週 火・木曜日 9:00～12:00
法律	弁護士	毎週 木曜日 13:00～15:00
内科医療	医 師	毎月第1・第3火曜日 14:00～16:00
健康・介護・虐待	看護師	毎月第2・第4水曜日 13:00～16:00
税金	税理士	毎月 第3水曜日 13:00～16:00

※法律相談のみ要予約です。

※祝日・年末年始はお休みです。

三好市内には、現在69団体がいきいきサロンを運営しており、地域の人々のふれあいの場となっています。皆さんも身近な地域で実施されているサロンに参加してみませんか？

三野地区

### 清水いきいきサロン

東祖谷地区

### 柄之瀬友愛クラブ カラオケ同好会

## 地域のサロンによるこそ

No.10

寄付のお礼

次の方々から社会福祉協議会にご寄付をいただきました。

善意銀行 (2月1日～3月31日受付分)

### 一般寄付

郷 地 敏 枝 様 (池田町)  
(故) 安 宅 政 子 様 (池田町)  
(故) 國 金 眞 理 様 (池田町)  
署名の方 ? 名 (池田町)

香曲返

匿名の方 1 名 (川城町、

ご寄付は社会福祉事業に有効に  
活用させていただきます。

福社繪會相談



日頃抱えるさまざまな悩みや法律的な問題について、相談員や弁護士が相談に応じます。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

法律知识

弁護士：大西聰法律事務所 所属弁護士

※法律相談は事前予約が必要です

平成29年 6月 1日 第1杰曜日 杰既・池田幸既 13:00~16:00 72-5715

平成22年 3月 2日 第1支門口 基本指針 18-22-18-22-72-2112

— 10 —

日常生活上の悩み、心配ごとに聞ける相談

※祝日の場合は、日程を変更いたします

三野支所	第3木曜日	13:00~15:00	77-2882	三野老人福祉センター
井川支所	毎週火曜日	13:00~15:00	78-3140	井川老人福祉センター
池田支所	毎週水曜日	13:00~15:00	72-5885	社協本所・池田支所
山城支所	第3水曜日	13:00~15:00	86-2434	三好市山城支所
西祖谷支所	第3木曜日	13:00~15:00	87-2088	西祖谷山村老人福祉センター
東祖谷支所	第2木曜日	13:00~15:00	88-2688	祖谷の歴史館

\*上記の日程において相談員が電話による相談も受け付けています。



4月16日、三野町にある公民館太刀野分館で、太刀野地区住協の設立総会が開催されました。市内で65箇所目、三野町では9箇所目となり、地区住協組織としては最終地区的立ち上げとなりました。

最近では、地域の集まりが少なくなってきたけど、これを機会にいっぱい集まって、人と想いをつなげてくださいね。そして、いろいろなことを太刀野地域の特色に合わせて決めながら、地区住協の役割をみんなで共有しつつ、少しずつ安心と活動をひろげていって欲しいな。

やまびこ  
ちゃんの  
ひとりごと